

令和6年2月20日

令和6年能登半島地震の被災地支援のため 石川県輪島市へ区職員を派遣します

令和6年能登半島地震に伴う被災地の1日でも早い復旧・復興を支援するため、東京都から各区市町村への第6陣の職員派遣依頼に基づき、東京都の対口支援団体である石川県輪島市に職員を派遣し、り災証明書の発行に関する受付業務を支援します。

派遣内容

1 派遣期間・人員

令和6年2月27日（火曜）～3月6日（水曜）の9日間
職員1名（事務職・係員）

2 業務内容

り災証明書の発行の受付業務等

出発に先立ち、2月20日（火曜）午後5時05分から、武井雅昭港区長が
激励会を行いました。

被災地へ派遣する職員から、「被災地では断水が続いていたり、電気が使えないなど、大変な状況であると聞いている。区職員として責任感を持って復興業務に取り組み、被災地の方々の役に立てるよう尽力したい。」と抱負が述べられました。

これに対し、武井雅昭港区長は、「8泊9日の少し長い期間の派遣になるが、自身の健康に気を付けながら、1日でも早い復旧・復興を目指して全力で輪島市を支援してほしい。被災地の窓口では色々な相談を受けと思うが、被災された方々に親身になり、寄り添った対応をしてください。また、区に戻ってきた際には、被災地で学んだことを区の防災の取組に生かしてください。」と派遣職員を激励しました。



▲激励会の様子